



京都大学 総合人間学部オープンキャンパス

8月9日(木) 吉田南構内

②相談コーナー [総合人間学部棟1102]

時間 10:00~16:30

教員と先輩が受験勉強から大学生活まで何でも相談に乗ります。ざっくばらんな何でも相談コーナーです。総人の先生や先輩と話してみたい。そんな方も大歓迎です。気軽に足を運んでみてください。

④総入学部紹介コーナー(パネル展示) [総合人間学部棟]

時間 10:00~16:00

総人の先輩が作ったパネル展示や、ビデオで総人を紹介します。ビデオは総人の先生方や現役総人生が生の声で学部のことを語ります。ぜひ、見に来てください。

④総入学部紹介コーナー(教員著書展示) [吉田南総合図書館]

時間 10:00~16:00

教員著書展示を行っている吉田南総合図書館は、学部展示の場所とは少し離れていますが、総人の先生が執筆した多くの本を閲覧できます。この機会にぜひ著書を手にとってみてください。

⑤学生企画 [I 総合館北棟北側 中庭 付近 II 総合館北棟 2階共北25教室]

時間 I : 12:30~13:30 II : 11:00~12:15 / 14:15~15:30

I. 京都大学各種団体の演技
京都大学の各種団体の演技です。間近と一緒に演技を盛り上げてください。出演予定は彩京前線(ダンス)、MITR(ダブルダッチ)です。

II. 現役総人生による学部紹介
総合人間学部現役学生が、受験勉強・研究内容・就活・院進学・大学生活とは、などのテーマについて、プレゼン形式で紹介します。

タイムテーブル

企画	場所	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
①学部説明会・模擬講義	吉田南4号館3F 4共30教室			11:15~12:30		13:30~14:45			
②相談コーナー	総合人間学部棟1F 1102			10:00~16:30					
③研究室公開	吉田南構内 総合館、総人棟・人環棟の各研究室 集合場所: 人間・環境学研究科棟1Fピロティ			12:45(集合)13:00~14:00		15:00(集合)15:15~16:00			
④総入学部紹介コーナー	パネル展示: 総合人間学部棟 教員著書展示: 吉田南総合図書館			10:00~16:00					
⑤学生企画	I: 吉田南総合館北側 中庭付近			12:30~13:30					
	II: 吉田南総合館北棟 2階共北25教室		11:00~12:15			14:15~15:30			

各企画への参加の例

〈例1〉 11:15~12:30	学部説明会	〈例2〉 11:00~12:15	学生企画
12:45~14:00	研究室訪問	12:25~	相談コーナー
14:15~15:30	学生企画	13:30~14:45	学部説明会
15:40~	相談コーナー	15:00~16:00	研究室訪問

2018 会場案内 [吉田南構内]

- 学部説明会・模擬講義** → 道順
[4号館3F 4共30教室]
- 相談コーナー**
[総合人間学部棟1F 1102]
- 研究室公開**
(集合は 人間・環境学研究科棟1Fピロティ)
- 総合人間学部紹介コーナー**
[パネル展示: 総合人間学部棟]
[教員著書展示: 吉田南総合図書館]
- 学生企画**
[京都大学各種団体の演技: 総合館北棟北側 中庭 付近]
[現役総人生による学部紹介: 総合館北棟2階 共北25教室]
- 休憩場所**
[総合人間学部棟]

総人受付
 お手洗い
 飲食施設
 バッグ配布場所
 自動販売機
 公衆電話

企画	場所	詳細																																																			
①学部説明会・模擬講義	吉田南4号館3F 4共30教室	<ul style="list-style-type: none"> ▶説明会A+模擬講義I <11:15~12:30> 講義テーマ:「生き方の社会学」(柴田 悠 准教授) ▶説明会B+模擬講義II <13:30~14:45> 講義テーマ:「物性物理学の世界:高温超伝導の謎」(吉田 鉄平 教授) 																																																			
②相談コーナー	総合人間学部棟1階1102	<10:00~16:30>																																																			
③研究室公開	【吉田南構内 総合館・総人棟・人環棟の各研究室】	第1クール<13:00~14:00>(12:45集合) 第2クール<15:15~16:00>(15:00集合) 各研究室ごとに、第1クール目は60分間、第2クール目は45分間公開しています。																																																			
人間科学系	集合場所 人間・環境学研究科棟(人環棟)1階ピロティ 集合場所から各研究室へスタッフが案内します。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>研究室公開教員</th> <th>教員専門分野</th> <th>研究室(実験室)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>永田 素彦 教授</td> <td>社会心理学</td> <td>東南棟2F 205(院生研究室)</td> </tr> <tr> <td>青山 拓央 准教授</td> <td>哲学</td> <td>人環棟5F 523</td> </tr> <tr> <td>小島 基洋 准教授</td> <td>英文学</td> <td>東南棟3F 307</td> </tr> <tr> <td>久代 恵介 教授</td> <td>行動制御学・運動パフォーマンス</td> <td>行動制御学研究室 共南3F 396</td> </tr> <tr> <td>角 大輝 教授</td> <td>数学(カオス・フラクタル)</td> <td>人環棟2F 226</td> </tr> <tr> <td>谷口 一美 教授</td> <td>認知言語学・英語学</td> <td>総人棟1F 1107</td> </tr> <tr> <td>大川 勇 教授</td> <td>ドイツ文学、中欧精神史</td> <td>共南4F 419</td> </tr> <tr> <td>柴山 桂太 准教授</td> <td>経済学、経済思想</td> <td>共南4F 417</td> </tr> <tr> <td>吉江 崇 准教授</td> <td>日本古代史</td> <td>共南4F 413</td> </tr> <tr> <td>赤松 紀彦 教授</td> <td>中国演劇史</td> <td>共南1F J24</td> </tr> <tr> <td>小島 泰雄 教授</td> <td>人文地理学・中国研究</td> <td>人環棟4F 437</td> </tr> <tr> <td>岩谷 彩子 准教授</td> <td>文化人類学</td> <td>人環棟2F 230</td> </tr> <tr> <td>藤原 直樹 准教授</td> <td>物理学</td> <td>高圧・核磁気共鳴室(人環棟214)</td> </tr> <tr> <td>田部勢津久 教授</td> <td>ガラス材料科学</td> <td>人環棟5F 515</td> </tr> <tr> <td>宮下 英明 教授</td> <td>藻類学、微生物生態学、進化生物学</td> <td>総人棟3F 1310</td> </tr> <tr> <td>小木曾 哲 教授</td> <td>地球科学</td> <td>人環棟3F 306</td> </tr> </tbody> </table>	研究室公開教員	教員専門分野	研究室(実験室)	永田 素彦 教授	社会心理学	東南棟2F 205(院生研究室)	青山 拓央 准教授	哲学	人環棟5F 523	小島 基洋 准教授	英文学	東南棟3F 307	久代 恵介 教授	行動制御学・運動パフォーマンス	行動制御学研究室 共南3F 396	角 大輝 教授	数学(カオス・フラクタル)	人環棟2F 226	谷口 一美 教授	認知言語学・英語学	総人棟1F 1107	大川 勇 教授	ドイツ文学、中欧精神史	共南4F 419	柴山 桂太 准教授	経済学、経済思想	共南4F 417	吉江 崇 准教授	日本古代史	共南4F 413	赤松 紀彦 教授	中国演劇史	共南1F J24	小島 泰雄 教授	人文地理学・中国研究	人環棟4F 437	岩谷 彩子 准教授	文化人類学	人環棟2F 230	藤原 直樹 准教授	物理学	高圧・核磁気共鳴室(人環棟214)	田部勢津久 教授	ガラス材料科学	人環棟5F 515	宮下 英明 教授	藻類学、微生物生態学、進化生物学	総人棟3F 1310	小木曾 哲 教授	地球科学	人環棟3F 306
研究室公開教員		教員専門分野	研究室(実験室)																																																		
永田 素彦 教授		社会心理学	東南棟2F 205(院生研究室)																																																		
青山 拓央 准教授		哲学	人環棟5F 523																																																		
小島 基洋 准教授		英文学	東南棟3F 307																																																		
久代 恵介 教授	行動制御学・運動パフォーマンス	行動制御学研究室 共南3F 396																																																			
角 大輝 教授	数学(カオス・フラクタル)	人環棟2F 226																																																			
谷口 一美 教授	認知言語学・英語学	総人棟1F 1107																																																			
大川 勇 教授	ドイツ文学、中欧精神史	共南4F 419																																																			
柴山 桂太 准教授	経済学、経済思想	共南4F 417																																																			
吉江 崇 准教授	日本古代史	共南4F 413																																																			
赤松 紀彦 教授	中国演劇史	共南1F J24																																																			
小島 泰雄 教授	人文地理学・中国研究	人環棟4F 437																																																			
岩谷 彩子 准教授	文化人類学	人環棟2F 230																																																			
藤原 直樹 准教授	物理学	高圧・核磁気共鳴室(人環棟214)																																																			
田部勢津久 教授	ガラス材料科学	人環棟5F 515																																																			
宮下 英明 教授	藻類学、微生物生態学、進化生物学	総人棟3F 1310																																																			
小木曾 哲 教授	地球科学	人環棟3F 306																																																			
国際文明学系																																																					
文化環境学系																																																					
自然科学系																																																					
④総入学部紹介コーナー(パネル展示・教員著書展示)	パネル展示: 総合人間学部棟 教員著書展示: 吉田南総合図書館	<10:00~16:00>																																																			
⑤学生企画	I: 吉田南総合館北側中庭付近 II: 吉田南総合館北棟2階共北25教室	学生企画 I : 京都大学各種団体の演技 <12:30~13:30> 学生企画 II : 現役総人生による学部紹介 <11:00~12:15 / 14:15~15:30>																																																			

各企画とも自由参加となります。ただし、それぞれの企画で収容限度数を超えた場合は、事前に参加の意思表示を頂いても、先着順により受け付けますので、他の企画・他の時間帯へ変更いただく場合もあることをご了承ください。また、「学部説明会・模擬講義」、「研究室公開」については、受験志望される方を対象として企画されたイベントのため、引率の方がご参加いただくことはできません。なお、文系・理系を問わず他の学部参加者もご参加いただけます。

*研究室公開は、原則、クールごとの総入替としています。各研究室で2クールに分けて公開しています。各クールの内容は同じです。各クール開始の15分前に集合場所(裏面「会場案内」参照)に集合してください。参加希望の研究室は、収容限度数により調整させていただくことがあります。

①学部説明会 [学部長と各学系主任による説明会です。 吉田南4号館3F 4共30教室]

時間	A: 11:15~12:30 (後半部は模擬講義 I)
	B: 13:30~14:45 (後半部は模擬講義 II)



杉山 雅人 学部長

総合人間学部は京都大学で最も新しい学部です。昨年、設立25周年を迎えました。文系から理系にわたる多種多様な教育研究領域を有しています。哲学や歴史など我々の文化や社会に関わることから、認知・身体運動や地球環境などの人体や自然を扱うものまで、幅広く深く学ぶことができる学部です。必ずや、皆さんの興味を引いてやまない領域がいくつもあると思います。模擬講義ならびに研究室公開に参加して、それを実感してください。卒業後は、大学院進学や、官公庁・製造業・マスコミ・国際機関などへ就職して、学界・官界・実業界のあらゆる場で多くの卒業生が優れた活躍をしています。

1 模擬講義

総合人間学部の講義を聴いてみて下さい。普段の講義より時間は短いですが、大講義室で行われる大学の講義を実際に体験してみてください。 吉田南4号館3F 4共30教室

模擬講義 I

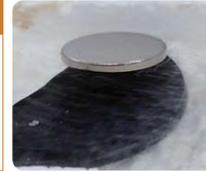
人間科学系
生き方の社会学
柴田 悠 准教授
(社会学)



「生き方」についての日本人の価値観は、この40年間で大きく変化しました。40年間にわたる大規模調査のデータを分析した立場から、日本人の生き方の変化とその背景を解説する。見えてくるのは「親密志向」と「社会貢献志向」の高まり、そしてその背景としての「第3次産業化」だ。さらに講義後半では、この見方を応用し、これからの時代の生き方を探る。「AI産業化」に伴い、人々の生き方はどう変わるのか。その変化の核心に迫る。

模擬講義 II

自然科学系
物性物理学の世界：
高温超伝導の謎
吉田 鉄平 教授
(物性物理学)



パソコンなどの電子機器やLED照明は、物質中の電子の振る舞いを深く理解し、その知識を応用することで実現しました。このように物質がもつ性質を追究する学問が物性物理学です。超伝導は電気抵抗が完全にゼロになる不思議な現象です。電気を流しても熱が発生しないので、抵抗ゼロを利用すれば送電効率が飛躍的に向上するはずですが、ほとんどの物質は絶対零度に近い温度まで冷却しないと超伝導が起こりません。30年以上前に発見された「高温超伝導」は、従来よりも、はるかに高い温度で超伝導になりますが、そのメカニズムは未だに謎に包まれています。高温超伝導の謎に関わる電子のミクロな世界を紹介したいと思います。

3 研究室公開

研究室（実験室）を訪れ、大学の研究室の雰囲気や先生方の研究の様子を感じとって下さい。 ※各クール集合時間に人間・環境学研究科棟1階の研究室公開集合場所（ヒロティール）に集合してください。 総合館・総人棟・人環棟の各研究室

人間科学系 社会心理学

永田 素彦 教授
東南棟2F 205(院生研究室)



社会心理学は、さまざまな集合体（人々とその環境）の性質や動きを研究対象にしています。それも、集合体をただ観察するのではなく、現場（フィールド）に入り込み、当事者と一緒に考え、行動をともにしながら、その集合体をよりよく変えていくことを目指します。私自身は、災害復興や地域づくりに関心をもち、いくつかのフィールドに関わっています。

人間科学系 哲学

青山 拓央 准教授
人環棟5F 523



哲学の観点から、おもに時間・自由・幸福に関する研究をしています。「分析哲学」と呼ばれる分野の入門書を出版していますが、分析哲学に特化した研究者とは言えず、自分自身も、特定の分野にとらわれない「たんなる哲学者」でありたいと願っています。オープンキャンパスでは研究の簡単な紹介を行ない、皆さんからの質問があれば、それにお答えしたいと思います。

人間科学系 英文学

小島 基洋 准教授
東南棟3F 307



「Never Let Me go」——ノーベル賞作家カズオ・イシグロの小説のタイトルです。「わたし」（主人公キャンシーであるのと同時に、唯一の親友トミーでもあり、彼女の秘めた恋心でもあり、無慈悲に引きずり出される内臓でもあり、永遠に歌い続けるテープでもある）を離さないで」について考えながら、私の専門でもあるイギリス文学の最新線をご紹介します。

認知情報学系 行動制御学・運動パフォーマンス

久代 恵介 教授
行動制御学研究室 共南3F 396



ヒトの運動パフォーマンスについて研究しています。私たちは環境や状況に応じて適切な運動を出力し目的を効率的に達成させています。日常やスポーツ場面において、それがどのように実現されどうすればさらに洗練させられるかについて、運動科学・スポーツ心理学・認知科学といった諸学問の手法を用いた実験研究を進めています。

認知情報学系 数学（カオス・フラクタル）

角 大輝 教授
人環棟2F 226



題目：カオスとフラクタルの体験
物が時間とともに変化していくときの、予測不可能とも思える複雑な動きである「カオス」を音楽にしたものを聞いてみましょう。また、物事の変化の極限等に現れる、細部を拡大すると全体と似る面白い図形「フラクタル」の図を見ましょう。樹木、カリフラワー、海岸線など自然界にたくさんあります。実際にフラクタルの野菜を見て触りましょう。フラクタルの数学的模型も紹介します。このようにしてカオスとフラクタルを五感で体感します。



認知情報学系 認知言語学・英語学

谷口 一美 教授
総人棟1F 1107



〈ことば〉を発したり解釈したりするとき、私たちの心の中では何が起っているのでしょうか。また、日本語と英語を比べても、文法や音声などさまざまな違いがある一方で、〈ことば〉として共通する部分も多くあります。このような多様性や共通性はあるのと同じようにして生まれたのでしょうか。心理学や生物学、言語の歴史といった幅広い観点から〈ことば〉の謎を探求するのが「言語学」です。私たちにとって身近な〈ことば〉から研究の世界がどのように広がるか、オープンキャンパスで紹介したいと思います。

国際文明学系 ドイツ文学・中欧精神史

大川 勇 教授
共南4F 419



ドイツ・オーストリア文学の研究をしています。これまで一番音を入れて読んできたのはロベルト・ムージルというオーストリアの作家ですが、研究室の学生たちはヘルダリン、キェルケゴール、リルケ、トーマス・マン、エルンスト・ユンガー等を好き勝手に読んでいて、彼らと議論するのが日々の楽しみです。今年は「愛」をテーマに講義をしていますので、オープンキャンパスでも「愛の精神史」のお話をしましょう。

国際文明学系 経済学・経済思想

柴山 桂太 准教授
共南4F 417



グローバル化を考えると現代は、モノ・カネ・ヒトが国境を越えて移動するグローバル化の時代と言われています。一方、数年前から欧州や米国では国境の壁を引き上げようとする動きも見られるようになりました。この「グローバル化の逆流」現象はなぜ起きているのでしょうか。その先にどんな未来が待っているのでしょうか。歴史を振り返りながら考えてみたいと思います。

国際文明学系 日本古代史

吉江 崇 准教授
共南4F 413



専門は日本古代史。奈良時代から平安時代にかけての国家・社会の変遷を、天皇を頂点とする宮廷社会の様子から研究しています。国風文化などから連想される華やかな宮廷社会は、微細ともいえる規範や慣習の積み重ねによって成り立っていました。しかし、折々に催された儀式の中に凝縮され、表現されましたが、そうした儀式が持つ意味合いを読み解くことによって、宮廷における社会秩序がどのようなものだったかを考えています。

文化環境学系 中国演劇史

赤松 紀彦 教授
共南1F 124



「中国伝統演劇はいかに演じられるか」。私の研究室では、中国の伝統演劇を中心に、東アジアの芸能史を研究しています。オープンキャンパスでは、中国の伝統演劇を紹介し、特にその音楽・歌唱について、お話ししたいと思います。

文化環境学系 人文地理学・中国研究

小島 泰雄 教授
人環棟4F 437



人文地理学が大切にしてきた研究課題の一つに「地域をどうすればよりよく理解できるのか」ということがあります。私は中国の農民がどのような空間的ひろがりの中で暮らしてきたのかについて、20世紀半ば以降の農村変化をめぐる調査と研究を進めています。いくつもの中国農村にでかけて、たくさんの老農民の話を聴いてきました。フィールド調査の際に撮影した写真をみながら、学問の現場における楽しさについて考えてゆきたいと思います。

文化環境学系 文化人類学

岩谷 彩子 准教授
人環棟2F 230



文化人類学は、フィールドワークを行って現地で暮らす人々の視点に自らを置くことで、さまざまな文化や社会の共通性や違いを明らかにし、「人間とはなにか」という問いを探求する学問です。文化人類学の対象は、異国の文化のみならず人間の行為や組織集団、道具など多岐にわたります。オープンキャンパスでは、中国やラオスの掛け合い歌や、「ジブシー」/ロマと呼ばれる人々の暮らしなど、人間の多様なあり方について紹介します。

自然科学系 物理学

藤原 直樹 准教授
高圧・核磁気共鳴室(人環棟214)



専門は固体物理学です。具体的には、核磁気共鳴法を手段として、2008年に発見された鉄基系高温超伝導体を中心に、電子間の相互作用と多体効果により多彩な現象が現れる強相関電子系について、ミクロな観点から調べています。核磁気共鳴法は、医療の分野ではMRI（磁気共鳴イメージング）として応用されています。我々の研究室では、高圧下核磁気共鳴法の技術開発も行っており、4万気圧までの圧力下で測定が可能です。



自然科学系 ガラス材料科学

田部 勢津久 教授
人環棟5F 515



日常生活で身近過ぎて知られていないかもしれませんが、ガラスの中には、色が変わったり、光エネルギーを蓄えたり、照射光波長を変換したり、レーザー発振したり、といった様に、光と様々な相互作用をするニューガラス材料という種類があり、今世紀のフォトニクス技術の主役となる、新しい光機能性材料として開発されています。そんな面白い透明物質の数を田部研究室では紹介します。

自然科学系 藻類学・微生物生態学・進化生物学

宮下 英明 教授
総人棟3F 1310



植物プランクトンに代表されるような単細胞の小さな藻の研究をしています。藻は地球環境の形成・維持に重要な役割を果たしているばかりか、藻がいなければ貝も魚も育ちません。また藻は、生物進化の秘密や人類の持続的発展のためのヒントを与えてくれます。自然界にはまだまだ知られていない藻がたくさんいます。新しい藻の能力を調べたり、ゲノムを解析して進化的道筋を解明しています。藻ではありませんが「天狗の麦飯」や原生生物の研究もしています。



自然科学系 地球科学

小木曾 哲 教授
人環棟3F 306



私達が住む地球の体積の8割は岩石からできています。岩石を知ること、それはすなわち、地球そのものを知ることになります。太陽系の惑星のなかで、なぜ地球だけが生命あふれる星になったのか？その謎を解く鍵も、岩石に秘められています。岩石を手掛かりに地球の歴史と営みを読み解くこと、それが私達の研究の目指すところです。岩石の何を調べたら地球の何がわかるのか、その手掛かりを、私達の実験室で探してみませんか。